

## 水素バリューチェーン推進協議会への参画について

当社は、水素分野におけるグローバルな連携や水素サプライチェーンの形成を推進する新たな団体「水素バリューチェーン推進協議会(JH2A)」(以下、本協議会)に、参画が決定(2021年4月1日より正式入会)しましたのでお知らせいたします。

### 1. 本協議会の概要

団体名	水素バリューチェーン推進協議会 (英語名: Japan Hydrogen Association 略称 JH2A)
目的	サプライチェーン全体を俯瞰し、業界横断的かつオープンな組織として、社会実装プロジェクトの実現を通じ、早期に水素社会を構築する
理事企業	岩谷産業(株)、ENEOS(株)、川崎重工業(株)、関西電力(株)、(株)神戸製鋼所、(株)東芝、トヨタ自動車(株)、(株)三井住友フィナンシャルグループ、三井物産(株) (以上9社)
会員数	88社(2020.12.7時点)

### 2. 水素社会の実現を見据えた当社の取り組み

当社は、これまで液化天然ガス(LNG)をはじめとした極低温のエネルギーソースを貯蔵する大型タンクを、国内外に多数建設してきました。この長年の実績より得られた豊富な経験や技術を活用し、将来の水素の需要拡大に対応すべく、現在、大型液化水素タンク実用化に向けた研究開発\*に注力しております。

\* 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)より、「液化水素貯槽の大型化に関する研究開発」のテーマで助成金事業を受託。

本協議会への参画を通じて、様々な参画事業者とともに水素社会の実現を目指し、当社の強みを生かしたインフラに係る取り組みを積極的に推進してまいります。

(参考)当社の気候変動対策に向けた取り組み

当社は、2019年に重要経営課題として、10項目のマテリアリティを設定し、統合報告書の発行等、当該事業内容の情報開示に努めてきております。10のマテリアリティの中で最重要課題は、「気候変動による事業環境変化に対する対応」であり、本協議会への参画を通じて、課題解決に向けて取り組んでまいります。

○脱炭素社会の実現に向けた、当社が参加するイニシアティブ

1. 「チャレンジ・ゼロ」(経団連): <https://www.challenge-zero.jp/>
2. 「ゼロエミ・チャレンジ」(経済産業省): <https://www.meti.go.jp/press/2020/10/20201009002/20201009002.html>

【お問合せ先】コーポレート本部 執行役員 経営企画部長 國友 宏俊

TEL: 03-5857-3333

メールによるお問い合わせはこちらから <https://www.toyokanetsu.co.jp/contact/>

以上